

報道関係者 各位

2022. 8. 3
< 配信枚数3枚 >

**カーボンマイナスプロジェクト 環境保全型農業で地域振興
放置竹林活用のバイオ炭畑で“地球を冷やす”クールベジタブルを栽培
夏野菜の収穫祭・カレー提供イベントを開催**

日 時：2022年8月20日（土）10：00～16：00

場 所：茨木市上音羽 阪急バス「倶楽部前」停留所前

立命館大学経営学部の林永周准教授ゼミに所属する学生7人は、茨木BBS会（青年ボランティア団体）と学生団体「OIC×BBSカーボンマイナスプロジェクト（※1）」を結成し、茨木市の上音羽にある放置竹林の竹から作ったバイオ炭の農作地で野菜を栽培し、環境保全型農業の普及や茨木市の活性化を目指して活動しています。このたび、地域住民らを対象に、夏野菜の収穫祭およびカレー提供イベントを、8月20日（土）に茨木市上音羽にて開催いたします。

世界的な地球環境の保全に向けて、社会全体で様々な取り組みが促進されています。その中で、農業分野で推進される環境保全型農業（※2）への認知度は低く、農業現場への浸透は十分とは言えない現状です。また国内では耕作放棄地や放置山林が多く存在し、それらが農産物の収穫量を低下させ、まち全体の魅力の低下や激甚災害をもたらす可能性が懸念されています。

同プロジェクトでは、このような現状を変え、環境保全の観点からまち全体や農業を活性化させるため、2021年から、茨木市北部の放置竹林の竹を伐採・炭焼きにし、4aと10aの畑にすき込んだバイオ炭の畑に苗を植え、夏野菜を栽培してきました。

今回のイベントでは、収穫した夏野菜でカレーを作り、地域住民の方々に提供します。発生した生ごみは、コンポストにして一巡完結させます。



栽培中のとうもろこし畑

今後、これらの野菜を“地球を冷やす”クールベジタブル＝「クルベジ」と名付けて販売し、環境保全型農業の普及、茨木市の竹害や農業離れを解消することを目指します。また、地域住民に、「食べるだけで“エコ”」につながることを発信し、茨木市の魅力を発信するイベントを実施するなど、茨木市のブランディング向上や活性化を目指します。

- ※1 本取り組みは、立命館大学カーボンマイナスプロジェクトの一環で、茨木市の「いばらき・学生等連携事業補助金」の支援を受けて活動しています。
- ※2 農業の持つ物質循環機能を活かし、生産性との調和に留意しながら、土づくり等を通じて化学肥料、農薬等の使用による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業（農林水産省ホームページより）

記

日 時：2022年8月20日（土）10：00～16：00

場 所：茨木市上音羽 阪急バス「倶楽部前」停留所前

内 容：バイオ炭の畑で栽培した夏野菜の収穫、野菜カレーを地域住民に提供

※ご取材いただける場合は、8月19日（金）12時までにご連絡ください。

以上

本リリースの配布先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：遠藤 TEL. 075-813-8300

※8月12日（金）～17日（水）は夏期一斉休業期間となり、閉室しています。

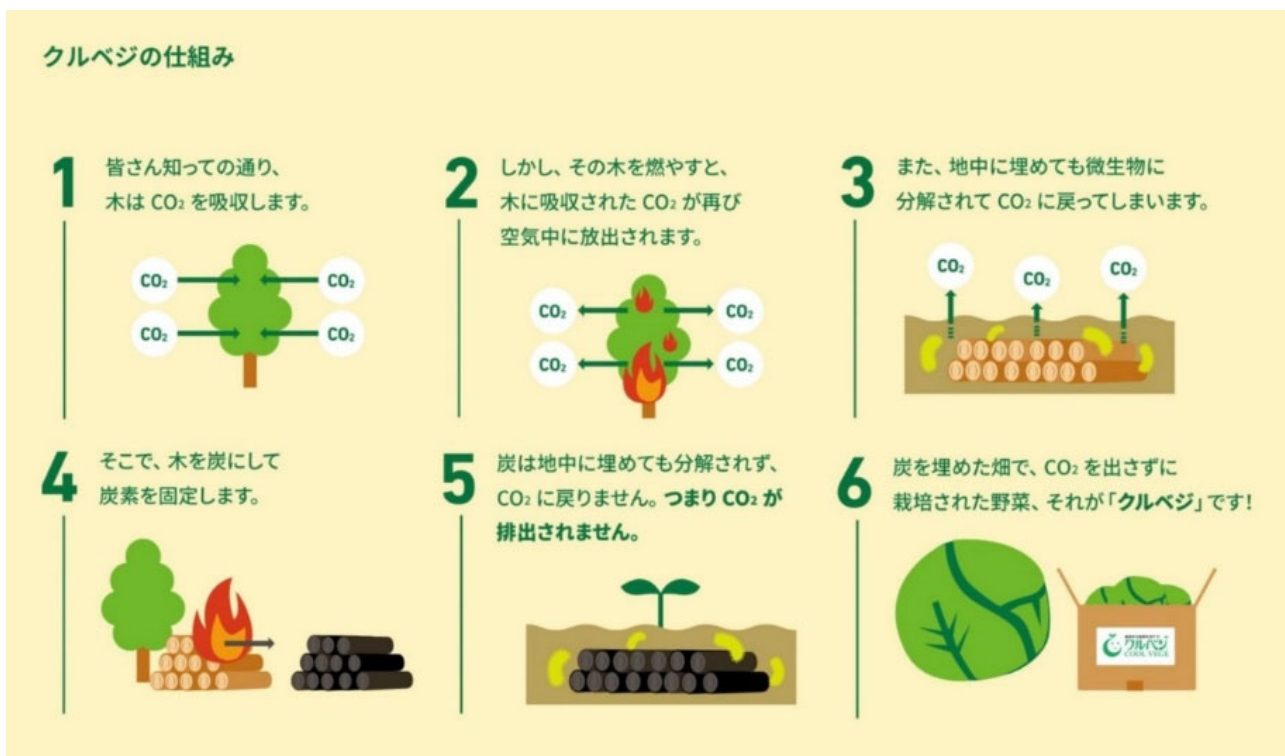
別紙

■カーボンマイナスとバイオ炭の活用について

カーボンマイナスとは、すでに生じている地球上の CO₂ の排出量よりも、吸収量を増やすことで、CO₂ 全体の総量を減少させることを指します。

本プロジェクトは、CO₂ を吸収した樹木を炭にし(=バイオ炭)、炭素を中に閉じ込めて固定する「炭素貯留」という方法を活用しています。バイオ炭を地中に埋めるだけで、大気中の CO₂ を減らし、地球温暖化の抑制に貢献することができる仕組みです。バイオ炭を埋めた畑で栽培された野菜を「クルベジ※」と名付けてブランド化し、地域振興や消費者への関心を高めることを目指します。

※野菜のブランド名。100 平米あたり 100 キロのバイオ炭を埋めた畑で取れた野菜につけられる。CO₂ 削減に貢献できる、「食べるだけでエコ」な野菜。地球を冷やすクールベジタブルの略称。



■立命館大学カーボンマイナスプロジェクトとは(<https://www.ritsumeikan-carbon-minus.org/>)

バイオ炭(炭化したバイオマス)を用いて、植物が光合成によって蓄えた二酸化炭素を地中に戻す活動について、取材・広報を行っています。バイオ炭による炭素貯留のカーボンマイナスのプラットフォームとビジネス・エコシステムの形成を促し、製炭業者の方々や農家の方々だけではなく、消費者、企業等を含めた多様な事業者・個人の共創・共生を目指しています。なお、同プロジェクトは、農林水産省の農林水産研究推進事業委託研究のひとつで、脱炭素・環境対応プロジェクト「農林水産分野における炭素吸収源対策技術の開発」のアウトリーチ活動の一環です。

■今後の活動予定スケジュール

日時	活動内容
2022年8月20日(土)	第1回クルベジ夏野菜の収穫祭とカレー作りイベントを実施 上音羽農業体験交流会主催 宝探しイベントにスタッフとして参加
2022年9月17日(土)	第2回クルベジ夏野菜の収穫祭とカレー作りイベントを実施
2022年9月	茨木市内で開催される「いばらきマルシェ」や「いばきたマルシェ」などで、収穫した野菜を販売
2022年10月頃	地域住民と一緒に畑に炭をすき込み・バイオ炭の畑作り、冬野菜の苗植えイベントを実施
2022年11月以降	月1回、地域住民と一緒に放置竹林の炭焼きとクルベジ野菜の栽培イベントを実施。茨木北部内でバイオ炭畑を増やす活動を実施
2023年3月頃	クルベジ冬野菜の収穫祭とスープ作りイベントを実施